会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」  （２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第4回学習評価WG |
| 開催日時 | 令和2年11月10日（火）　10時00分～12時00分 |
| 場所 | 福岡：リファレンス駅東ビル貸会議室（オンライン会議併用） |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾  委　　　員：植上　一希、岡村　慎一、近藤　賢宏、瀧本　知加、  田澤　初美、丹田　桂太、佐藤　昭宏、小田　茜  オンライン参加：岩﨑　千鶴　　　　　　　　　 計 10名  オブザーバー：渡邉　晶帆、内川　穣太　　　　　　　　　　 計 2名  請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　 計 1名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 合計13名 |
| 議題等 | 1. アンケート調査内容検討（佐藤）   ・教務責任者向けと一般教員向けと分けた。  ・教務責任者向けでは学校規模の質問を追加した。  ・「学校の学習評価に関わる取り組みについて」は、教務責任者向けのみ、  実施メンバー・頻度も質問する。  ・「重視して育成している力」は、一般教員向けでのみ掘り下げて質問。  ・アンケートはWebで行い、依頼書にURL、QRコードを記載する。  ・11月下旬～12月上旬で実施。  ・アンケート集計結果は全専研のWeb上で公開。  (1)一般教員向けアンケート項目  ・No.14…重視して育成している力を育成する指導・機会の選択肢の表現  を分かりやすく細分化する。  ・No.8…“業務遂行能力”という表現を“専門学校で学んだ内容が社会で  どう評価されているか”に変更。  ・No.5…授業区分はすみ分けが難しく、教員・学校・状況によって変わっ  てくるので、授業時間数のみの質問にする。  (2)教務責任者向けアンケート項目  ・No.4…選択項目を「校長・副校長」「教務責任者」「学科責任者」  「その他」に変更  (3)アンケート実施スケジュール  ・11月10日の学習評価WG会議内で修正点について議論（最終）  ・11月11日に中にFIX  ・11月12日にライスマウンドさまにアンケート原稿・依頼書の入稿  ・11月19～20日にアンケートフォームの最終チェック  ・11月24～12月4日　調査実査   1. アクションリサーチ進捗状況報告（瀧本）   ・前回の会議を踏まえて質問項目を決定した。  　A)学科・コースに対する調査　B)授業担当者に対する調査  　C)クラス担任に対する調査  (1)プレ・アクションリサーチの実施について  ・学科・コースに対する調査について行った。  ・プレ・アクションリサーチの結果を踏まえ、アクションリサーチでは、  　調査項目を事前に渡すこととする。  (2)アクションリサーチ経過について  ・11月6日にYIC京都ビューティーで実施した。  ・専門学校が意識している能力はすでに評価に含まれているが、言語化さ  れていない、実践に即して存在している能力を指しており、文脈依存的  なものを先生方は持っていることが分かった。  ・先生の役割や経験によって、非認知能力の言語化の有無が結構ある。  (3)課題  ①先生によって力点が違うため担当者別のインタビューは実施しにくい。  ②基礎的・汎用的能力については、学校ごとの取組がある。  ③先生方の意識は、より具体的文脈に即した能力にあるようである。  (3)今後の方向性と予定  ①成果物の方向性  ・先生たちが非認知能力を学生に教えるにあたり、どこを意識しながら教  えているのか、どういった教育契機でこれを延ばそうとしているのかを  整理。  ・非認知能力は汎用性のものから個別性のものまで様々なものあるが、た  とえ違う学科でも言語化の共有ができ、それぞれに教育方法・評価方法  を説明できるようになれることが必要。  ②今後の予定  岡山情報ビジネス学院…11月16日（月）13時～   1. スケジュール確認   ・第5回学習評価WG会議…12月14日（月）15時～17時  福岡で対面開催（オンライン併用） |
| 配布資料 | ・2020年度学習評価WG第3回レジュメ  ・アクションリサーチ（案）  ・学習評価研修アンケート項目 |

以上